

anthis Nexus D810

取扱説明書 [カメラ編] V1.1

このたびは、当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に本書 [カメラ編] 並びに別冊子 [ハウジング本体編] をよくお読みいただき十分ご理解のうえ、Nexus ハウジングを安全に正しくお使いください。お読みになったあとも、大切に保管してください。
カメラをハウジングにセットしたら、水中で使用される前に必ず、全ての操作部が確実に操作できることを確認してください。

取扱説明書で使用している画像やイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

a n t h i s

目 次

お使いになる前に

- ・パッケージ内容の確認 1
- ・ユーザー登録 1
- ・必ずお読みください 1
- ・保証書について 1

各部の名称と主な機能 2～5

主な仕様 5

セッティング前のカメラの準備

- ・メインコマンド/サブコマンドダイヤルの油分除去 6
- ・その他の準備 6

セッティングの基本

- ・リアボディを開ける 7
- ・MODE ボタンの操作と解除 7
- ・露出補正ボタンの操作と解除 7
- ・光接続について 8～9

補足説明

- ・フォーカスノブの AF・MF 切り替えについて 10
- ・レンズ取り外しボタンの機能を止める 10

故障かな?と思ったら



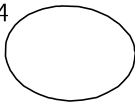







- ・コマンド/サブコマンドノブの滑りや空回り 11
- ・背面ボタンが作動しない 11
- ・外部拡張 AF-ON ボタンのクリーニングについて 11

Nexus D810 をお使いになる前に

この度は、Nexus ハウジングをお買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に、以下のことを行ってください。

●パッケージ内容の確認

以下のものが、パッケージに含まれているか確認してください。

<input type="checkbox"/> 1. ハウジング本体			
<input type="checkbox"/> 2. レンチセット			
<input type="checkbox"/> 3. Oリンググリス			
<input type="checkbox"/> 4. スペアボディOリング			
<input type="checkbox"/> 5. 表示シール			
<input type="checkbox"/> 6. ケーブルアダプタ 2A×2 個 (光ケーブル2mm用)			
<input type="checkbox"/> 7. ケーブルアダプタ 2C×2 個 (光ケーブル2mm用)			
<input type="checkbox"/> 8. ピックアップレンズカメラ側			
<input type="checkbox"/> 9. 左肩ボタンシール			
<input type="checkbox"/> 10. ストラップリング ×2 個			
<input type="checkbox"/> 11. レンズリリースレバー抜け止めピン			
<input type="checkbox"/> 12. 内蔵フラッシュ CLOSE レバー抜け止めピン			
<input type="checkbox"/> 13. AF モードアーム			
<input type="checkbox"/> 14. BKT アーム			
<input type="checkbox"/> 15. 取扱説明書 (本体編・カメラ編)			
<input type="checkbox"/> 16. 保証書			
<input type="checkbox"/> 17. ユーザー登録葉書			



注意

パッケージ内容に誤りのある場合は下記へご連絡ください。
㈩アンティス
〒444-2137
愛知県岡崎市数田
1-16-1
☎0564-25-3937

●ユーザー登録

ユーザー登録葉書は必要事項を記入して、必ず投函してください。
この葉書によってお客様は本製品のユーザーとして登録されます。

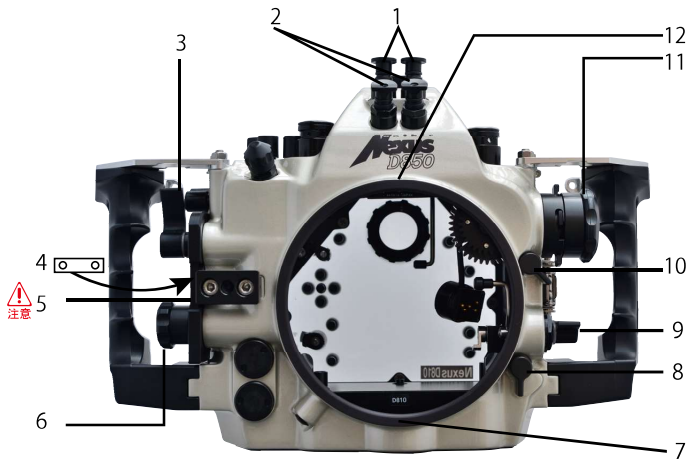
必ずお読みください


- 安全にご使用いただくために取扱上の注意は大変重要です。よくお読みになり十分ご理解されてから、ご使用されることをお願いいたします。
- 潜降を始める前に浅いところで、水漏れがないか、正常に操作できるか必ず確認してください。
- 水漏れ事故を起こした場合のハウジングやカメラ、レンズの損害、撮影のための諸費用などの補償についてはご容赦ください。
- ハウジングやカメラ、レンズの為の保険『アンティスセイフティプラン』をご意しております。ご質問やご希望のある方は、別紙連絡先へお問い合わせください。

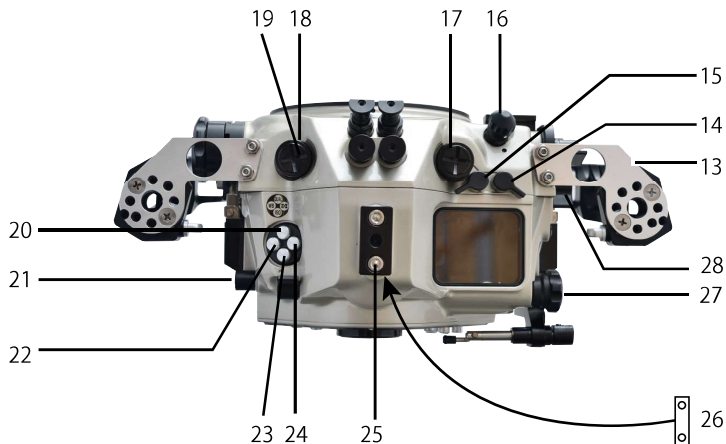
保証書について

- 保証規定をよくお読みください。
- 期間はお買い上げ日より1年間で日本国内のみ有効です。
- 保証書の再発行はいたしません。大切に保管してください。

各部の名称と主な機能



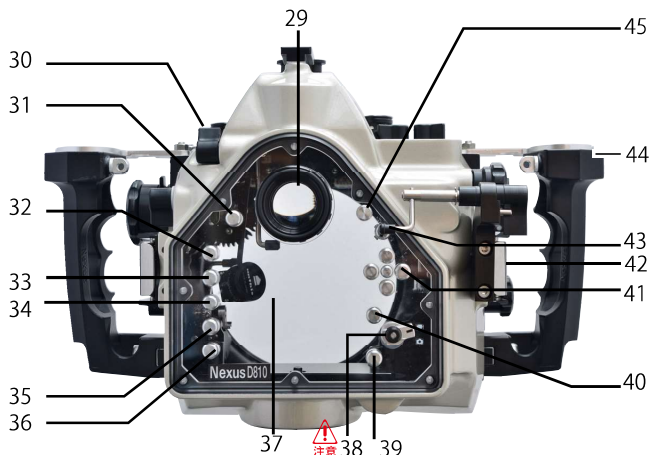
- 1 光ソケット 1・2 (X 同調対応光接続)
光ケーブルを接続し、LED の発光を外部ストロボに伝達します。付属品のケーブルアダプタ 2A を差込んでください。(▶本書 P7～8)
- 2 光ソケット 3・4 (S-TTL 対応光接続)
光ケーブルを接続し、内蔵フラッシュの発光を外部ストロボに伝達します。付属品のケーブルアダプタ 2C を差込んでください。(▶本書 P7)
- 3 シャッターレバー
手前に引いてシャッターボタンを操作します。
- 4 防蝕亜鉛プレート
意図しない腐蝕を防ぐためにボディと T スライドベースの間に挟み込まれています。
- 5 T スライドベース 
Nexus アーム (別売品) などのアクセサリが取り付けられるようになって
います。外径の大きいフィッシュアイポートなどを取り付ける場合は外して
ください。T スライドベースとポートが干渉しネジが最後まで閉まらず、すき
間が生じるため防水機能が失われます。
- 6 サブコマンドノブ
サブコマンドダイヤルを操作します。
- 7 O リング接触面
ポートのベース O リングがあたる面で防水に重要な箇所です。傷、ホコリなど
を防ぐために移動、運搬、保管の際はボディーキャップ (別売品) で保護して
ください。
- 8 フォーカスモードセレクトレバー
フォーカスモードセレクターを操作します。(▶本体編 P4)
- 9 レンズ取り外しレバー
レンズ取外しボタンを操作します。(▶本書 P9)
- 10 内蔵フラッシュ OPEN レバー (AF モードレバー / BKT レバー)
フラッシュロック解除ボタンを操作して、内蔵フラッシュを上げます。内部の
アームを付属の AF モードアームあるいは、BKT アームに交換すると、機能を交
更することができます。(▶本書 P8)
- 11 フォーカス / ズームノブ
単焦点レンズのマニュアルフォーカス操作をします。ズームレンズでは、ズー
ム操作をします。レンズに合ったギアを選び取り付けてください。
- 12 ポート取付け指標



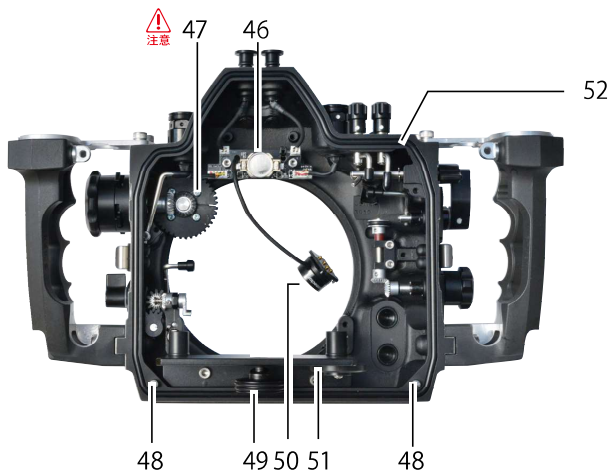
- 13 **グリップアッパーステー**
グリップを保持します。事故の衝撃を吸収するだけでなく、万一、グリップが折れても分離を防ぎます。右グリップ用、左グリップ用があります。
- 14 **☒ ノブ** (▶本書 P6)
- 15 **MODE ノブ** (▶本書 P6)
- 16 **電源スイッチ** (▶本書 P6_ 本体編 P7)
- 17 **電気ソケットメイン** (電気接続)
カメラと外部ストロボをニコノス5ピン対応の電気ケーブルで接続します。5ピン端子の接続は、ピンの配置に注意して差し込んでください。
i-TTL 調光対応のストロボでは、TTL 自動調光が可能です。これ以外のストロボは X 同調のみ可能です。
- 18 **電気ソケットサブ** (電気接続)
2灯めのニコノス5ピン対応電気ソケットで、X 同調のみ可能です。
- 19 **シンクロキャップ**
ソケット内部を保護するキャップです。シンクロコードを接続する時以外は、外さないでください。
- 20 **QUAL ボタン**
- 21 **再生レバー**
▶ ボタンを操作します。
- 22 **WB ボタン**
- 23 **☒ ボタン**
- 24 **ISO ボタン**
- 25 **T スライドベース**
- 26 **防蝕亜鉛プレート**
意図しない腐蝕を防ぐために、ボディと T スライドベースの間に挟み込まれています。
- 27 **メインコマンドノブ**
メインコマンドダイヤルを操作します。
- 28 **動画撮影レバー**
動画撮影ボタンを操作します。



注意
キャップが外しにくい場合はコイン等で緩めてください。反対にコイン等で締める場合は締め過ぎに注意してください。行き止まりまで締めたら、ほんの少し戻してください。




- 29 **ピックアップファインダー**
 ファインダー像を縮小し、全視野を確認しやすくなっています。カメラのファインダー部にピックアップレンズカメラ側が必要です。(▶本体編 P2～3)
- 30 **内蔵フラッシュ CLOSE レバー**
 内蔵フラッシュを収納します。収納後はレバーを戻してください。内蔵フラッシュが十分に上がらず、発光不良となる場合があります。
- 31 **削除ボタン**
- 32 **MENU ボタン**
- 33 **電源ボタン**
- 34 **AF-ON ボタン**
- 35 **AE-L/AF-L ボタン**
- 36 **OK ボタン**
- 37 **モニターウインドウ**
 見やすい大型のウインドウは Nexus の特長です。大きな視認性を持ち液晶モニターを確実にサポートします。
- 38 **ライブビュー切替えレバー / Lv ボタン** ⚠ 注意
 レバーを回して動画 / 静止画の設定をします。
 カメラをセットする際にカメラの設定とレバーの指標を合わせてください。リアボディを閉めた後に合わせることはできません。(▶本体編 P8)
 中央のボタンを押してライブビューの開始と終了を操作します。
- 40 **info ボタン**
- 41 **i ボタン**
- 41 **マルチセレクターボタン**
 マルチセレクターの4方向と中央のボタンを操作します。
- 42 **ラッチ**
 左右2箇所ですフロントボディとリアボディを固定します。
- 43 **外部拡張 AF-ON ボタン**
 シャッターレバーに指を掛けたまま、レバーでタンを押すことができます。
- 44 **Nexus セイフティグリップ**
 輸送中に過大な力がかかると衝撃を吸収し、変形しやすくなっています。
 ボディの安全に配慮されたグリップで、事故の発生が一目でわかります。
- 45 **AE-L/AF-L ボタン**



46 NSS-N (Nexus Synchro System Nikon) 基板

光接続と、電気接続が最大で4灯同時に使用できます。
 (▶本体編 P9～10_NSS-N について)

47 2モードギア  **注意**

標準の40モードと大口径レンズ対応の30モードの2段構造になっています。
 モードはレンズやギアの径に応じて設定します。(▶本体編 P11～12_2モードギアの取り扱いについて)

48 ボディノックピン

フロントとリアボディの合わせガイドです。左右にあります。

49 カメラホールドスクリュー

カメラの三脚ネジ穴に取り付け簡単にカメラの着脱ができます。

50 NSS-Nikon カメラコネクター (Nexu Synchro System Nikon Camera Connector)

カメラのアクセサリースューに接続します。(▶本体編 P7)

51 ベースプレート

カメラを正確に位置決めします。カメラ、レンズからの振動を確実に受け止めます。

52 ボディOリング

密閉性や防水性を確保します。取り扱いによっては防水機能を損なう場合があります。(▶本体編 P18～19_Oリングの取り扱い参照)

■主な仕様

- 適応カメラ : ニコン D810
- 主な材質 : 耐蝕アルミ合金鋳物
- 寸法 : (W×H×D) 約 316×206×138
- 重量 : 約 2,490g (陸上 グリップ含む)
- 実用耐水深 : 75m

メインコマンドダイヤル／サブコマンドダイヤルの油分除去

- コマンドダイヤルのワックス、皮脂、指紋等をカメラ専用のクリーニングクロスやペーパーで丁寧に拭き取ります。
- ※ダイヤル上の油分が、ハウジング内部のホイールの O リングに付着すると、滑りやすくなり、ノブが空回りして操作ができない場合があります。

その他の準備

- 液晶モニターカバーがついている場合は取り外します。
 - 1コマ撮影や連続撮影など、レリーズモードを選択します。
 - フォーカスポイントロックレバーのロックを解除します。
- ※詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

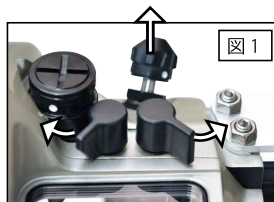
1 リアボディを開ける

- 1-1 電源スイッチノブを引き上げ、MODE、露出補正のノブを左右に開きます。

☞ 図-1

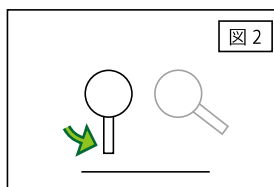
ボディ開閉時には、カメラが入っていても行ってください。

内部のプレートやアームがカメラに干渉します。



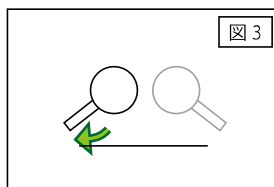
2 MODE ボタンの操作と解除

- 2-1 【ON】 ノブを右に回して、アームの先端をカメラのボタンに合わせます。☞ 図-2
レバーが正面にある間は、ON の状態が維持されます。



【ON】

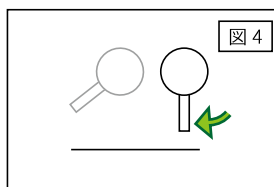
- 2-2 【OFF】 ノブを左に回して解除します。
操作時以外は、誤作動を避けるため、アームの先端をボタンから離しておいてください。☞ 図-3



【OFF】

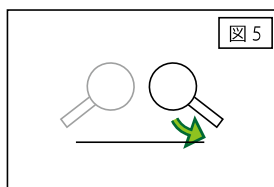
3 露出補正ボタンの操作と解除

- 3-1 【ON】 ノブを左に回して、アームの先端をカメラのボタンに合わせます。☞ 図-4
レバーが正面にある間は、ON の状態が維持されます。



【ON】

- 【OFF】 ノブを右に回して解除します。
操作時以外は、誤作動を避けるため、アームの先端をボタンから離しておいてください。☞ 図-5

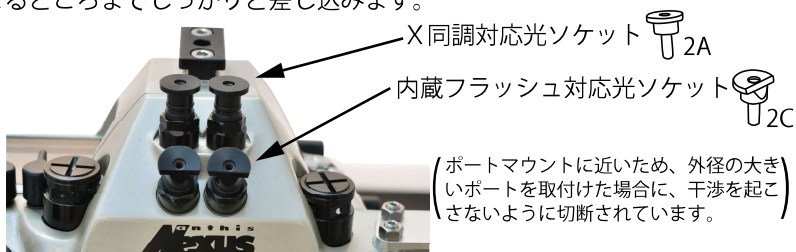


【OFF】

4 光接続について

光ケーブルの接続

X同調対応の光ソケットと内蔵フラッシュ対応の光ソケットがあります。光ケーブルを差し込む前に、不用意にケーブルが外れないように、光ソケットのプラグに付属品のケーブルアダプタを差し込みます。光ケーブルは止まるところまでしっかりと差し込みます。



内蔵フラッシュ対応に接続する

内蔵フラッシュがポップアップできる状態にします。基板に接続されたケーブルが妨げにならないように配置させてください。

①LED ケーブルが受光部を遮らない。

②カメラコネクターは、カメラのアクセサリシューに接続する。

内蔵フラッシュ OPEN レバーを操作して、正常にポップアップすることを確認します。

注意：内蔵フラッシュの発光量は、信号を伝達する最小光量に設定してください。フル発光やTTL調光は避けてください。光がレンズポートに反射して、撮影画像に写り込むことがあります。

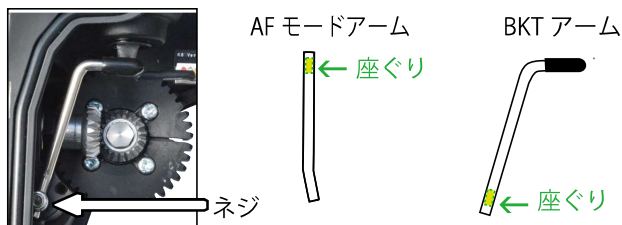


X同調対応に光ケーブルを接続する

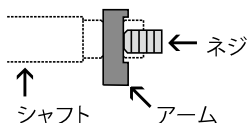
不要な機能は、ほかの機能に変更したり、止めたりすることができます。

<内蔵フラッシュ OPEN を「AF モードボタン」あるいは「BKT ボタン」に変更する方法>

1. 2 mm の六角レンチで、ネジをゆるめフラッシュロック解除アームを抜き取り交換します。
交換のアームは、付属品パッケージ内にあります。



2. アームの座ぐり（段になった平らな部分）にネジを確実に固定します。
座ぐり以外で固定すると使用しているうちにネジがゆるみ、操作ができなくなります。
ネジを締めた後、アームを回す、引っ張るなどしてガタがないことを確認してください。
3. カメラをセットして正常に作動することを確認します。

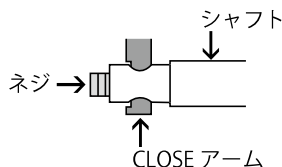


<内蔵フラッシュ CLOSE を止める方法>

1. 2 mm の六角レンチでネジをゆるめ、CLOSE アームを抜き取り内蔵フラッシュ CLOSE レバー抜け止めピンに交換します。

CLOSE 抜け止めピンは、付属品パッケージ内にあります。

注意：ピンが無いとレバーが脱落し、防水機能が失われます。



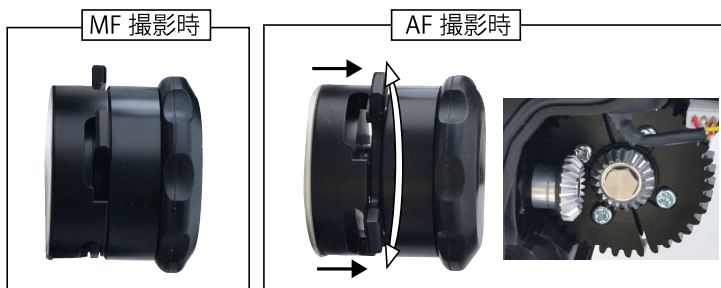
CLOSE 機能を再開するときは、アームの座ぐり（段になった平らな部分）にネジを固定してください。座ぐり以外で固定するとゆるむことがあります。



フォーカスノブの AF・MF 切り替えについて

AF 撮影時にフォーカスリングが回転して、レンズの全長が変化するレンズをご使用の場合に、フォーカスノブを引いて、回転させることにより駆動を切り離すことができ、レンズに負荷がかかりません。

AiAF Fisheye-Nikkor 16mm F2.8D などのレンズに便利な機能です。



MF 撮影時

AF 撮影時


※ボディ開閉時にホルダーのつまみが、ラッチに当たらない位置に調整してください。

レンズ取り外しボタンの機能を止める

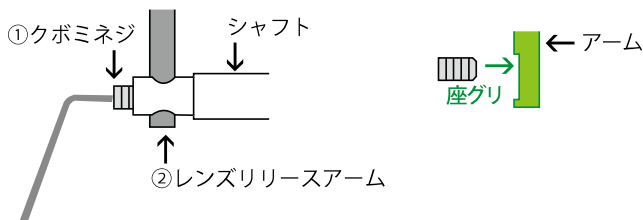
レンズ取り外しボタンのアームが、カメラを出し入れする際の妨げにならないように、必要な場合には機能を止めることができます。アームをレンズ取り外しレバー止めピン（▶本書 P1 付属品パッケージ内）に交換してください。

<手順>

- ①のクボミネジを 2 mm の六角レンチでゆるめる。
- ②のレンズリリースアームを抜き取り、ピンを取り付ける。

 ピンが無いとレバーが脱落して、防水機能が失われます。

レンズリリース機能を再開するときは、アームの座グリ（段になった平らな部分）にネジを固定してください。座グリ以外ではゆるむことがあります。



a n t h i s

有限会社 アンティス

〒444-2137 愛知県岡崎市藪田 1-16-1

TEL : 0564-25-3937

FAX : 0564-25-2205

<http://www.anthis.co.jp>

*改善により仕様および外観の一部を予告なしに変更することがあります。
*取扱説明書における本文および写真などの無断転載、複製を禁じます。